



霜



素



起



鍊



風

素練風霜起り

白い練り絹に風が吹き、霜が降り、

(杜甫の詩より)

⇒ 倣書で書いています
 王羲之(東晋)を基本に
 集字としています
 各行の中心、字幅、字粒を考へて
 書きましよう
 倣書とは、
 古典帖から感じられる結体、
 結構や性情をもとにして古法帖の文字
 とは別の文字を素材として作品と
 つくること。